



シリーズ6

下水道の財源

下水道施設の建設には、長い年月と優れた技術、そして巨額の費用が必要となります。また、建設された下水道施設を維持・管理するための費用も必要となります。これらの費用はどのようにしてまかなわれるのでしょうか。

そこで今回は、「下水道の財源」についてお知らせします。

建設費の財源

下水道施設の建設には、水管の埋設、ポンプ場の設置、処理場の建設等の費用が必要です。これらは、次の財源によってまかなわれます。

〈国庫補助金〉

下水道建設費のうち、国が一定の基準にしたがって、県・市

へ交付するお金です。

〈起債〉

県・市が下水道建設費に充てるための資金を、国等から借り入れるお金です。

〈一般市(県)費〉

県・市の一般会計からの支出金です。

〈受益者負担金〉

下水道の整備により利益を受ける人に、建設費の一部を負担していただくものです。

維持管理費の財源

建設された下水道施設の維持管理費には、施設の維持補修・清掃費、下水処理費などがあります。

これらは、次の財源によってまかなわれます。

〈一般市(県)費〉

県・市の一般会計からの支出金です。

〈下水道使用料〉

下水道を使用する人から、排出した下水の量に応じて料金を負担していただくものです。

下水道建設費は

約646億円

下水道事業の財源について、あらましをお知らせしましたが、「それでは、具体的な建設費用はどれぐらい？」



※下水道についてのお問い合わせは市下水道課 ☎49-3111 (内線339)へどうぞ

という疑問をお持ちでしょう。市が現在進めている第一期計画(昭和六十二年度～平成五年度)での建設費は、補助事業分約十三億円、市単独事業分約二十億円の計約三十三億円になっており、その財源構成は、おおむね図のような割合です。また、全体計画(平成十七年度まで)での建設費は、約六百四十六億円となっています。

▼NHKで県内市町村を紹介

NHK秋田放送局では、午後6時から放送している「あきたトッデー」で、県内の市町村を紹介するコーナーを設けています(木曜日を除く平日放送)。当市の紹介は4月14日に行われ、秋田犬保存会の平泉さんと三鶏保存会の片岡さん、秋田犬の千代丸がゲストとして出演し、大館のPRをしました。次回は、8月1日に大文字まつりを中心に放送される予定ですので、どうぞご覧ください。



右から、久保田アナ、平泉さん、片岡さん、千代丸、住吉アナ

フォト・ニュース



右から成田さん、滝沢さん、伊藤さん、藤岡さん、一関さん

▲さわやか笑顔「ミス杉の子」決まる

4月29日、桜まつり会場の桂城公園で「ミス杉の子」審査発表会が行われました。ミス杉の子に選ばれたのは、成田里見さん(鷹巣町・20歳)、滝沢宗子さん(大滝・21歳)、伊藤加代子さん(清水4丁目・24歳)、藤岡美香さん(萩野台・21歳)、一関千佳さん(二井田字替の里・22歳)の5人。ミス杉の子の5人はこれから1年間、市の観光や特産物などを全国へ紹介するために活躍します。